

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 5 日

事務事業名		市女性団体活動補助事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020201000631
						単独/補助	単独		090601
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	生涯学習課
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進						課長名	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	生涯学習G
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進						担当者名	
手段名		O1 ①自主的な活動の支援と学習機会の提供							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業		
法令根拠		桜川市女性団体補助金交付要項				単年度繰返し (平成18年度~)			
【Do】		1. 事務事業の現状把握(その1)				☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>平成17年10月の合併に伴い旧町村でそれぞれ活動していた「岩瀬町女性会」「大和村女性の会」「真壁町地域女性団体連絡会」が廃止となり、平成18年4月より「桜川市地域女性会」を設立。平成26年度に「地域女性連絡会」も設立された。</p> <p>令和4年3月まで生涯学習課が再び両団体が一緒に活動できるよう仲立ちを行ってきたが、双方で聞き入れなかったため、両団体には補助金は交付しないことが確定した。</p> <p>しかしながら、女性関連団体の社会教育活動を促進していくため、令和4年度に生涯学習課で女性リーダー研修を企画・開催し、研修受講者が新たな団体活動を立ち上げることができるよう下地作りを行っている。</p>		<p>【補助対象団体に対する事務】</p> <p>5月下旬：補助金交付の手続き(交付申請受理後交付決定及び交付)また、実績報告の受理</p> <p>○団体活動に関する市関係機関との連絡調整</p> <p>○研修会に伴う市バス使用申請及び同行</p> <p>【団体の認定に関する事務】</p> <p>○実績を積んだ団体による認定申請受理及び審査認定事務</p>	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
女性の地位向上のための研修 幹部会研修並びに継続者養成 情報交換 他団体との連絡提携 資料作成及び広報活動 目的を達成するために必要な事業							補助額		千円	0.00	0.00	23.00	23.00	23.00
							女性団体会員数		人	0.00	0.00	33.00	50.00	50.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市内女性							市内女性数(常住人口:1/3)		人	12,551.00	12,264.00	12,215.00	12,166.00	11,965.00
							認定団体数		団体	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
各支部相互の連絡提携を図るとともに、各 単位団体の活動を推進し、地域社会の向上 発展に寄与する							活動件数(総会資料受領後確認)		件	0.00	0.00	6.00	6.00	6.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移				04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	0	0	230		
			事業費計(A)	千円	0	0	230		
			正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事 業 費 の 内 訳	05年度事業費 実績(千円)				06年度事業費 予算(千円)			
					18 負担金補助及び交付金	230		
				合計	0		合計	230

(4) 当該年度の実施内容		06年度の事業内容		07年度の事業内容		08年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する		<ul style="list-style-type: none"> 女性団体認定申請受付、処理 団体補助金に関する事務 認定団体の活動に関する支援(施設使用料、市・教委バス等の減免対応など) 		<ul style="list-style-type: none"> 団体補助金に関する事務 認定団体の活動に関する支援(施設使用料、市・教委バス等の減免対応など) 		<ul style="list-style-type: none"> 団体補助金に関する事務 認定団体の活動に関する支援(施設使用料、市・教委バス等の減免対応など) 	

事務事業名	市女性団体活動補助事業	事務事業No.	20201000631	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に桜川市で活動する女性団体活動を支援する目的で2つの団体に補助金を交付することとした。 補助金検討委員会で2つの団体補助は不相当と指摘を受け、令和3年度末まで2団体融和に向け仲立ちを継続してきた。 新たな社会教育活動を担う女性の団体活動がうまれるよう、女性リーダー研修を実施した。 					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度の総会で活動方針の違いから地域女性会は分裂し、平成26年度には新しい女性団体が発足した。しかし、2団体とも活動内容に大きな差異がないため、補助金検討委員会からは、統合して1つの団体として活動するよう促すこと、一本化できない場合は廃止するよう指摘された。 令和4年3月の最終協議で両団体とも市からの仲裁を受け入れなかったため、当補助金の対象から除外とし、新たに活動する団体ができたら補助金を交付する方針が市長から示された。 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・市の行事やボランティア活動に積極的に参加していることは、生涯学習・芸術文化活動の推進に結び付く。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・友愛の精神を養い女性自身の充実・発展のために必要である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ・市として活動に補助できる団体は一つとしていることから、認定団体が生まれる下地作りとして研修会を実施し、令和5年度以降新たな団体を認定し、助成することで女性による社会教育活動が活性化できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ・女性団体による社会教育活動を促進することが目的であり、他の事業と統合できない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・補助金のみ予算であるほか、人件費も必要最低限のため削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・団体活動は、市補助金のほか会員の会費によって賄われるため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	令和3年度には2つの団体の一本化に向け、各団体代表者と副市長、財政課、生涯学習課が4回の協議を行ったが、一本化できなかった。 令和5年度以降は、令和4年度実施のリーダー研修受講をきっかけとして新たな女性団体が自主的に設立された後、活動実績を元に教育委員会の認定を申し出て、認められた団体に補助を行っていく方針となった。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認